

全専各連

ホームページから広報（PDF版）がダウンロードできます

No.189 2021年3月15日

発行：全国専修学校各種学校総連合会

発行人：福田 益和

編集人：菅野 国弘

〒102-0073

東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館11階

Tel:03(3230)4814 Fax:03(3230)2688



全専各連第132回理事会、全専協理事会を開催

新型コロナウイルス感染拡大防止に協力し書面により開催

2月25日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場に開催を予定していた全専各連第132回理事会・全国専門学校協会理事会合同会議は、2月2日、政府による「緊急事態宣言」が3月7日まで延長されたことを受け、外出自粛要請等による新型コロナウイルス感染拡大防止についての協力依頼に考慮して書面での開催に変更した。なお、理事会構成員は全専各連61名、全専協60名。提出議案は次の通り。

◎全専各連第132回理事会

【第1号議案 令和3年度事業計画原案（審議事項）】

【第2号議案 令和3年度収支予算原案（審議事項）】

第1号ならびに第2号議案は令和3年度事業計画と同事業計画原案に基づく収支予算原案。

第1号ならびに第2号議案については、特に質疑はなく、理事会構成員の過半数により承認された。

◎全国専門学校協会理事会

【第1号議案 令和3年度事業計画原案（審議事項）】

【第2号議案 令和3年度収支予算原案（審議事項）】

第1号ならびに第2号議案は令和3年度事業計画と同事業計画原案に基づく収支予算原案。

第1号ならびに第2号議案については、特に質疑はなく、理事会構成員の過半数により承認された。

＜令和2年度事業中間報告＞

配布資料を参照。全専各連・全専協ともに6月総会において、審議事項「令和2年度事業報告」として提案されることを報告。

以上により、全専各連第132回理事会理事会・全国専門学校協会理事会合同会議におけるすべての審議事項について承認された。

※全専各連第132回理事会・全専協理事会当日資料については、全専各連ホームページをご覧ください。

全専各連・全専協常任理事会

2月25日、東京都・アルカディア市ヶ谷において開催を予定していた、全専各連・全専協常任理事会は、2月2日、政府により「緊急事態宣言」が3月7日まで延長されたことを受けて、新型コロナウイルス感染症拡大予防ならびに隣県への移動制限や外出自粛要請等を考慮して書面開催での開催に変更した。

令和2年度学校基本調査 文部科学省より確定値が公表されました

文部科学省より令和2年5月1日現在の学校基本調査確定値が令和2年12月25日に公表された。今回の調査で専修学校は、学校数は前年度に比べ22校減少し3,115校、また在籍者数は前年度に比べ1,481人増加し661,174人であった。

また、令和2年の高等学校卒業者1,037,284人のうち、

専門学校への進学者は前年度より2,763人増加して174,822人となり、進学率は前年より0.5ポイント上昇して16.9%となった。なお、高卒者のうち大学(学部)への進学率は1.2ポイント上昇して51.0%(529,009人)、また就職者の割合は、前年より0.3ポイント低下して17.4%(180,560人)となった。

専修学校、各種学校についての主な確定値は次のとおり。

【専修学校】

◆**学校数** 全体では3,115校（国立9校、公立187校、私立2,919校）で、前年度より22校減少している。

都道府県別の学校数は、東京都404校、大阪府224校、愛知県175校、北海道159校の順で多い。

課程別では、専門課程を置く学校は26校減少して2,779校、高等課程を置く学校は4校減少して404校、一般課程を置く学校は3校減少して143校（課程併設校あり）。

◆**学生・生徒数** 全体では661,174人（男子293,035人、女子368,139人）となり、前年度比1,481人の増加。

課程別では、専門課程は6,545人（1.1%）増加して604,415人、高等課程は996人（2.8%）減少して34,075人、一般課程は4,068人（15.2%）減少して22,684人。

分野別では、医療191,752人、文化・教養156,266人、工業100,251人、衛生73,548人、商業実務83,484人、教育・社会福祉32,077人、服飾・家政18,979人、農業4,817人。前年度より増えた分野は、工業分野（5,813人増）、衛生分野（900人増）、商業実務分野（545人増）、服飾・家政分野（511人増）。

減少した分野は、医療分野（4,214人減）、文化・教養分野（1,648人減）、教育・社会福祉分野（321人減）、農業分野（105人減）。

全体の学科別で増加が目立つのは情報処理3,403人、デザイン1,861人、旅行1,471人、動物1,302人、土木・建築881人、介護福祉768人など。減少傾向が見られたのは、受験・補習3,724人、看護1,959人、准看護1,069人、情報944人、柔道整復550人、社会福祉472人など。

◆**入学者数** 全体で315,451人となり、前年度比で4,898人（1.5%）減少した。

専門課程への入学者数は279,586人で、前年度より421人減少した。このうち、本年3月に高等学校等を卒業した者は194,108人であり、入学者数に占める割合は69.4%。

専門課程入学者のうち大学等の卒業生数は、13,557人あり、内訳は大学卒業生11,179人、短大卒業生2,199人、高等専門学校卒業生179人。入学者全体に占める割合は4.8%である。

また、高等課程への入学者数は13,701人で前年度より440人減少している。このうち、本年3月に中学校等を卒業した者は8,485人であり、入学者に占める割合は61.9%である。

◆**卒業生数** 全体では269,952人となり、前年度より4,873人減少している。

◆**教員数** 教員数は155,989人〔本務者40,824人（高等課程2,512人、専門課程37,235人、一般課程1,077人）、兼務者115,165人〕で、前年度より759人減少している。教員一人当たりの学生・生徒数は前年度から横ばいで4.2人となっている。

【各種学校】

◆**学校数** 1,102校（公立6校、私立1,096校）で、前年度より17校減少している。

◆**生徒数** 105,203人（男子56,277人、女子48,926人）で、前年度より11,717人（10%）減少している。

分野別では、その他分野（予備校・自動車操縦等）は77,449人、文化・教養は14,405人、商業実務は6,525人、医療は5,005人、家政は1,245人、衛生は239人、教育・社会福祉は174人、農業は112人、工業は49人。

令和3年度予算案閣議決定

専修学校修学支援への取組に275億円

12月21日、政府は令和3年度予算案を閣議決定した。このうち文部科学省の専修学校関係予算案は、専修学校教育の振興に資する取組で27.2億円、また専修学校への修学支援に資する取組275億円となった。なお、詳細は全専各連ホームページ内の「広報全専各連プラスWEB」に掲載。

◎専修学校教育の振興に資する取組 21.9億円

●人材養成機能の向上

○専修学校における先端技術利活用実証研究

6.2億円

○専修学校による地域産業中核的人材養成事業

7.3億円

○専修学校留学生の学びの支援推進事業

1.7億円

○専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト

2.7 億円

●質保証・向上

○職業実践専門課程等を通じた専修学校教育の質保証・

向上の推進 1.4 億円

○専修学校と地域の連携深化による職業教育魅力発信力

強化事業 0.4 億円

○専門学校生への効果的な経済的支援の在り方に関する

実証研究事業 2.2 億円

◎専修学校の教育体制及び施設整備等に関する取組

5.3 億円

○私立学校施設整備費補助金 3.0 億円

○私立大学等研究設備整備費等補助金 2.3 億円

◎専修学校への修学支援に資する取組 275 億円

○高等教育（私立専門学校分）の修学支援の着実

275 億円

全国高等専修学校協会 理事会・
文部省委託事業成果報告会開催

2 月 17 日、東京・アルカディア市ヶ谷を会場として全国高等専修学校協会の理事会がオンラインで開催された。

清水信一会長が開会あいさつを述べ、議事に入った。配布資料をもとに進行し、1. 令和 3 年度事業計画・収支予算原案（活動方針：①高等専修学校の振興策の実現【特に今般の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う生徒に対する国の支援として、高等学校等就学支援制度および高校生等奨学給付金の拡充のほか、学校独自に行う修学支援給付金

等への補助、学校運営維持の助成措置等の制度構築・補助を各都道府県に求める。また GIGA スクール構想を筆頭に、国の補正予算を通じ専修学校での遠隔教育導入に向けた施設設備の財政的支援ならびに都道府県での追加的な予算を得るとともに、より効果的な教育手法を検討し、全国に共有する。】、②高等専修学校の教育力の向上等）。質疑応答および広く意見・情報交換を行い、事業計画原案・収支予算原案ともに提案どおり異議なく拍手承認され、今後の予定日程も決定した。

理事会開催前に令和 2 年度文部科学省委託事業「高等専修学校の機能高度化推進事業：学びのセーフティネット機能の充実強化 調査研究分野・地域連携分野合同成果報告会」がアルカディア市ヶ谷を会場としてオンライン開催され、45 名が受講。

清水会長が開会あいさつを述べ、佐々木俊治文部科学省専修学校教育振興室専門官が来賓あいさつを述べた。発表に移り、【高等専修学校の機能高度化に関する調査研究】＝大岡学園高等専修学校、全国 8 か所で実施された地域連携委員会から報告として安城生活福祉高等専修学校と佐賀星生学園。【高等専修学校と外部とのネットワーク化の推進】＝猪名川甲英高等学院、武蔵野東高等専修学校、野田鎌田学園高等専修学校、豊野高等専修学校、大阪技能専門学校、大岡学園高等専修学校が発表した。受講者との質疑応答を経て、佐々木文科省専修学校教育振興室専門官が講評を述べて終了した。



情報検定（J 検）出願状況

令和 2 年 12 月 20 日に文部科学省後援・情報検定（J 検）情報活用試験（後期）が下記のとおり実施された。受験状況・結果は次のとおり。

●ペーパー方式

出願団体数

22 団体

会場数

22 会場

3 級

出願者数

578 名

受験者数

532 名

合格者数

364 名

合格率

68.4%

2 級

出願者数

1,369 名

	受験者数	1,135名
	合格者数	608名
	合格率	53.6%
1級	出願者数	888名
	受験者数	775名
	合格者数	485名
	合格率	62.6%

●CBT方式(令和2年4月1日～令和3年1月31日現在)

出願者数 9,940名

◇情報活用試験

3級	出願者数	3,649名
2級	出願者数	2,198名
1級	出願者数	742名

◇情報システム試験

基本スキル

出願者数 1,337名

プログラミングスキル

出願者数 828名

システムデザインスキル

出願者数 865名

◇情報デザイン試験

初級	出願者数	308名
上級	出願者数	13名

ビジネス能力検定(B検)ジョブパス 受験状況・結果

令和2年12月6日(日)に、文部科学省後援ビジネス能力検定(B検)ジョブパス後期試験が実施された。

出願団体数 126団体

会場数 126会場

出願総数 11,255名

(通年実施のCBT方式は含みません)

■3級

出願者数	9,175名
受験者数	8,597名
合格者数	7,625名
合格率	88.7%

■2級

出願者数	2,080名
受験者数	1,971名
合格者数	1,474名
合格率	74.8%

■1級(令和3年2月6日～14日実施)

出願者数	56名
受験者数	47名

専修学校グローバル化対応推進支援事業 成果報告会

1月25日、東京都・アルカディア市ヶ谷を中継会場として「令和2年度専修学校グローバル化対応推進支援事業専門学校留学生受け入れ・就職支援研修会・成果報告会」が、TCE財団の主催により完全オンラインで開催された。受講者は65名。

本事業委員長の岩本仁先生の開会あいさつ後、第3部構成に従い順に進む。第1部(本年度の留学生受け入れ状況と今後の動向)および第2部(本年度の留学生就職指導状況と今後の状況)において、TCE財団が全専各連・全専協留学生委員会と協働して実施した調査をもとに、新型コロナウイルス感染症対策としての留学生の新規入国・再入国制限が及ぼす影響を事務局が報告。両部において、実施委員がコメントによって各地域の状況を述べるとともに、今後留学生を受け入れ、教育する際のポイントを挙げた。

第3部においては、元留学生の定着・キャリア形成支援をテーマとして介護福祉分野プロジェクトについて事務局より実施報告。留学生として来日し、日本語教育及び専門教育を受け、現在、日本の介護施設等において「介護」の在留資格を持ち活躍する介護福祉士複数名へのインタビューをまとめ、今後、日本が外国人材を受け入れる際の重点を抽出した。

続いて、橋口直樹介護福祉分科会委員長が定着支援事業報告を行ったうえで、学校・行政・地域が一丸となって取り組む事例として『千葉県留学生受入プログラム』について成田国際福祉専門学校が事例報告を行った。

更にこれを受けて、企業としての取り組み状況について、(一社)ワムタウン推進本部より福原亮委員が報告。最

後に長谷川恵一委員が、介護分野に留まらない全体としての留学生受け入れ態勢の支援の必要性に言及し、閉会した。

内部質保証人材の養成講習 2 日間にわたりオンラインで開催

2 月 4・5 日、一般財団法人職業教育・キャリア教育財団 (TCE 財団)、全国専門学校協会共催で、「専門学校の教育訓練・運営に係る内部質保証人材の養成講習」がオンラインで開催された。受講者は 10 名。

受講対象者は、専門学校の組織管理・運営、又は正規課程若しくは正規課程以外の教育指導や課程等の編成で、3 年以上の実務経験を有し、当該知識を有している教職員。

はじめに、私立専門学校等評価研究機構真崎裕子事務局長が、「専修学校評価ガイドラインに沿った自己評価・学校関係者評価の進め方」「専修学校における第三者評価の取組」と題して講義を、また、「自己評価報告書の作成演習（グループ演習・討議）」を実施した。続いて、JAMOTE 認証サービス株式会社代表八木信幸氏が、「専門学校の職業教育を取り巻く評価制度」「監査技法」についての説明を行い 1 日目を終了した。

翌日 5 日は、前日から続いて JAMOTE 認証サービス株式会社代表八木信幸氏から「ISO29993：2017 の要求事項①」

「ISO29993：2017 の要求事項②」についての説明と小テストを実施し、また、「監査技法と内部監査事例演習ー内部監査の技術・知識の概要並びに ISO29993：2017 の要求事項に基づく模擬演習ー」を実施し、終了した。

令和 3 年度 予定日程

<役員会・総会等>

- 全専各連第 70 回定例総会・第 133 回理事会

令和 3 年 6/16 (水)

東京都・アルカディア市ヶ谷

- 全国専門学校協会定例総会・理事会

令和 3 年 6/17 (木)

東京都・アルカディア市ヶ谷

- 都道府県協会等代表者会議

令和 3 年 11/26 (金)

東京都・アルカディア市ヶ谷

<課程別部会総会>

- 全国専修学校一般課程各種学校協会定例総会

令和 3 年 6/8 (火)

東京都・アルカディア市ヶ谷

- 全国高等専修学校協会定例総会

令和 3 年 6/10 (木)

東京都・アルカディア市ヶ谷

<その他会議>

- 事務担当者会議

令和 3 年 4/16 (金)

東京都・アルカディア市ヶ谷

<令和 3 年度ブロック会議>

- 中国ブロック会議

令和 3 年 7/8 (木)

岡山県・ANA クラウンプラザホテル岡山

- 九州ブロック会議

令和 3 年 7/20 (火)

長崎県・ザ・ホテル長崎ベストウェスタン

プレミアムコレクション

- 北関東信越ブロック会議

令和 3 年 8/24 (火)

栃木県・ホテル東日本宇都宮

- 北海道ブロック会議

令和 3 年 9/14 (火)

札幌市・ホテル札幌ガーデンパレス

- 東北ブロック会議

令和 3 年 10/8 (金)

福島県・ホテル華の湯

<TCE 財団役員会>

- 第 139 回理事会

令和 3 年 6/9 (水)

東京都・アルカディア市ヶ谷

- 第 93 回評議員会

令和 3 年 6/29 (火)

東京都・アルカディア市ヶ谷

<検定試験>

●文部科学省後援・情報検定(J検)

◇令和3年度前期試験

【情報活用試験】令和3年6/20(日)

【情報システム】令和3年9/12(日)

◇同 後期試験

【情報活用試験】令和3年12/19(日)

【情報システム】令和4年2/13(日)

◇C B T 試験

【情報活用・情報システム・情報デザイン】通年実施

※情報デザインは、C B T方式のみで実施。

●文部科学省後援・ビジネス能力検定(B検)ジョブパス

◇令和3年前期試験

【2級・3級】令和3年7/4(日)

◇同 後期試験

【2級・3級】令和3年12/5(日)

◇C B T 試験

【1級】令和3年9/11(土)～19(日)

令和4年2/5(土)～13(日)

【2級・3級】通年実施

<その他>

●第76回全国私立学校審議会連合会総会

令和3年10/28(木)・29(金)

兵庫県・ホテルクラウンパレス神戸

広報全専各連 プラスWEB掲載記事

詳細は、全専各連ホームページ【広報全専各連】→
 プラスWEBよりご覧いただけます。

<https://www.zensenkaku.gr.jp/koho/index.html>

◆令和3年度専修学校関係予算案

◆全国専修学校一般課程各種学校協会理事会

■イベント・研修会

<部会・関係団体等> ○全国専門学校英語スピーチコン
 テスト／観光英語検定試験結果／「服の日」記念行事

会員校の皆様へ

『授業目的公衆送信補償金制度』をご存じですか？

平成30年に著作権法が改正され、指定管理団体((一社)授業目的公衆送信補償金等管理協会<以下、SARTRAS(サートラス)>)による授業目的公衆送信に係る補償金制度が令和3年度から本格実施されます。今後、ICTの活用により授業等の過程で利用する著作物について、個別に著作権者等の許諾を得ることなく、SARTRASを通じて著作権者に補償金を支払うことにより、著作物を円滑に利用できるようになります。

補償金額や規程に関する詳細は、文化庁(<https://www.bunka.go.jp/>)またはSARTRASホームページ(<https://sartras.or.jp/>)でご確認ください。

また本件に関わる情報等は全専各連ホームページでもご案内しています。

遠隔教育の実施にあたっては、同法の趣旨を十分に理解したうえで適切に対応してください。

会員校の皆様へ

募集要項等に、3月31日まで
 に入学辞退の意思表示をした者
 に授業料等を返還することを明
 記してあるか、不適切な記載がな
 いかも併せ、改めてご確認ください。
 ご心配な点は都道府県所管課
 等とご相談ください。

本件に関わる通知等は全専各
 連ホームページにてご覧いただ
 けます。

日本政策金融公庫(国の教育ローン)「災害特例措置」等のご案内

令和3年福島県沖を震源とする地震、平成30年北海道胆振東部地震、豪雨及び暴風雨による災害等、熊本地震、東日本大震災などにより被害を受けた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

日本政策金融公庫(国民生活事業)では、「国の教育ローン」につきまして、震災により被害を受けた皆さまに対して、貸付利率の引下げなどの「災害特例措置」を実施しています。また、新型コロナウイルス感染症にかかる特例措置についてもご案内しています。

お問い合わせは、**教育ローンコールセンター 0570-008656 (又は03-5321-8656)**



■情報検定(J検)は情報教育の柱となる「創る・使う・伝える」の三要素を網羅し、これからも学校教育を支援していきます。

<https://jken.sgec.or.jp/>

情報活用試験

ペーパー方式(団体出願のみ実施)

2021年度前期

試験日 令和3年6月20日(日)

出願期間 手書願書——4月1日～5月17日(願書必着日・予定)
電子願書——4月1日～5月24日(願書必着日・予定)

実施級/受験料 1級——4,500円

2級——4,000円

3級——3,000円

情報デザイン試験

CBT方式のみ

詳細はJ検HPを参照下さい。

実施級/受験料 初級——4,000円
上級——4,500円

※新型コロナウイルス感染拡大に伴う試験の対応については、HPにて最新の情報をご確認ください。

情報システム試験

ペーパー方式(団体出願のみ実施)

2021年度前期

システムエンジニア認定
プログラマー認定

試験日 令和3年9月12日(日)

出願期間 手書願書——6月1日～7月16日(願書必着日)
電子願書——6月1日～7月20日(//)

※出願締切を延長しました

実施級/受験料 基本スキル——3,500円

システムデザインスキル——3,000円

プログラミングスキル——3,000円

情報検定全科目でCBT方式がご利用いただけます!

*パソコン画面で受験できる試験方式です。

従来のペーパー方式に加え、CBT(Computer Based Testing)方式でも実施いたします。

*個人受験をご希望の方はCBT方式をご利用ください。

◇各試験で随時受付中です。

◇受験料はペーパー方式と同一料金です。

◇自由に試験日が設定でき、可否結果もその場で分かります。

J検CBT無料体験版でお試しいただけます。(ホームページよりご利用ください。)

◇「併願受験」をサポートするプランも実施中です。

不合格、または欠席となった科目は1年間合格するまで何度でも受験できます。(団体のみ対象。登録資格はwebにてご確認ください。)



文部科学省後援

ビジネス能力検定ジョブパス

(<https://bken.sgec.or.jp/>)

従来のペーパー方式(全国一斉)に加え、2級3級ではCBT方式を導入。
試験日時を自由に設定でき、分散した実施が可能です。(1級はCBT方式のみ)
(検定試験の最新情報は、B検ホームページをご確認ください)

2級・3級(2021年度前期)[ペーパー方式]

■前期試験/2021年7月4日(日)

■出願期間/4月1日～5月21日

■実施級・受験料/2級(4,200円)

3級(3,000円)

【想定受験者と評価内容】

2級●就職活動のスタートを間近に捉えた大学生、専門学校生等から社会人1、2年目程度。●3級の知識を前提とし、企業の役割や責任と権限などを理解するとともに、効率的な業務の進め方、問題解決のための基本的なコミュニケーション、情報活用の技法を評価する。

3級●就職活動を視野に捉えた、高校3年生、大学生・専門学校生等●入学者自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提にビジネス常識および、基礎的なコミュニケーション、情報の利活用など、将来、職業人として適応するために身につけておくべき知識を評価する。

1級(2021年度前期)

■前期試験/2021年9月11日(土)～

9月19日(日)

(上記期間内から選択可。ただし会場設営状況による。詳細はホームページをご覧ください)

■出願期間/団体受験:7月5日(月)～

試験日の2週間前まで

/個人受験:7月5日(月)～

試験日の3週間前まで

■実施級・受験料/1級(8,500円)

(2級合格者が所定の期間に受験する場合5,500円※但し、1回のみ)

【想定受験者と評価内容】

●就職活動を展開中の大学生・専門学校生等から入社1年目から3年目程度の社会人。●2級の知識、技法を前提とし、問題解決を円滑に推進するために必要となる論理的な思考、情報発信と表現技法、および基礎的なマネジメント技法を実践的に評価する。

